



Hewlett Packard
Enterprise

HPE iLO 5 1.20 リリースノート

部品番号: 880725-194
発行: 2018 年 2 月
版数: 1

ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ (Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items) は、ベンダー標準の商業用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトの外に移動します。Hewlett Packard Enterprise は、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外の情報を管理する権限を持たず、また責任を負いません。

商標

Microsoft® および Windows® は、米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

Java® および Oracle® は、Oracle および/またはその関連会社の登録商標です。

Google™ は、Google Inc. の商標です。

Linux® は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

Red Hat® は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. の商標または登録商標です。

SD は SD-3C の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

VMware® は、VMware, Inc. の米国および各国での登録商標または商標です。

説明

iLO 5 は、HPE ProLiant サーバーおよび Synergy コンピュートモジュールのシステムボードに組み込まれたリモートサーバーマネジメントプロセッサです。iLO では、リモートの場所からサーバーを監視および制御できます。iLO 管理は、サーバーをリモートで構成、更新、監視、および修復するための複数の方法を提供する強力なツールです。iLO (Standard) は、追加コストまたはライセンスなしで Hewlett Packard Enterprise サーバーに事前設定されています。

サーバー管理者の生産性を向上させる機能および追加のセキュリティ機能がライセンス付与されています。詳しくは、<http://www.hpe.com/support/ilo-docs> にある iLO ライセンスガイドを参照してください。

アップデートの推奨事項

推奨

旧バージョン情報

更新された情報: 1.17

製品モデル

iLO 5

サポートされるデバイス

- HPE ProLiant ML110 Gen10 サーバー
- HPE ProLiant ML350 Gen10 サーバー
- HPE ProLiant BL460c Gen10 サーバー
- HPE ProLiant DL120 Gen10 サーバー
- HPE ProLiant DL160 Gen10 サーバー
- HPE ProLiant DL180 Gen10 サーバー
- HPE ProLiant DL360 Gen10 サーバー
- HPE ProLiant DL380 Gen10 サーバー
- HPE ProLiant DL385 Gen10 サーバー
- HPE ProLiant DL560 Gen10 サーバー
- HPE ProLiant DL580 Gen10 サーバー
- HPE ProLiant XL170r Gen10 サーバー
- HPE ProLiant XL190r Gen10 サーバー
- HPE ProLiant XL230k Gen10 サーバー
- HPE ProLiant XL450 Gen10 サーバー

- HPE Synergy 480 Gen10 コンピュートモジュール
- HPE Synergy 660 Gen10 コンピュートモジュール

オペレーティングシステム

- Microsoft Windows Server 2012 R2
- Microsoft Windows Server 2016
- Red Hat Enterprise Linux 6.9
- Red Hat Enterprise Linux 7.3 errata kernel-3.10.0-514.6.1.el7
- Red Hat Enterprise Linux 7.4
- SUSE Linux Enterprise Server 11 SP4 Installation Kit
- SUSE Linux Enterprise Server 12 SP2
- SUSE Linux Enterprise Server 12 SP3
- VMware vSphere 6.0、6.5

ブラウザ要件

サポートされるブラウザ

iLO の Web インターフェイスを実行するために、最新バージョンの以下のブラウザがサポートされています。

- Microsoft Edge
- Mozilla Firefox
- Google Chrome
- Internet Explorer 11

必要な設定

以下の設定が有効でなければなりません。

- **JavaScript** - iLO の Web インターフェイスは、クライアント側 JavaScript を頻繁に使用します。
この設定は、すべての Internet Explorer バージョンでデフォルトでは無効です。構成の手順については、iLO のユーザーガイドを参照してください。
- **Cookies** - 一部の機能が正常に動作するために、Cookie を有効にする必要があります。
- **ポップアップウィンドウ** - 一部の機能が正常に動作するために、ポップアップウィンドウを有効にする必要があります。ポップアップブロックが無効になっていることを確認してください。
- **TLS** - iLO の Web インターフェイスにアクセスするには、ブラウザで TLS 1.0 以降を有効にする必要があります。

言語

このリリースでサポートされる言語：

- 英語
- 日本語
- 簡体字中国語

機能強化

このバージョンでは、次の機能と拡張機能のサポートが追加されます。

- HTML5 リモートコンソール
- 共有ネットワークポート IPv6 のサポート
- 共有ネットワークポート iLO の連携サポート
- SNMP アラートの送信先を SNMPv1 または SNMPv3 ユーザーに関連付ける機能
- 機能が拡張されたファームウェアとソフトウェアの最新版インターフェイス
 - 新しい [キューに追加] ペイン
 - インストールセット、キューに入れられたコンポーネント、または iLO レポジトリ用の [すべて削除] オプション
 - ファームウェアの更新時、iLO レポジトリのアップロード時、またはインストールキューの更新時に使用する [リカバリセットをアップデート]
- オンライン証明書ステータスプロトコルに対する CAC Smartcard 認証サポート
- iLO RESTful API アップデート：
 - NVMe ドライブプロパティ
 - リモートサポートの構成
 - デバイスインベントリ
- 8 つの SNMP トラップ先のサポート
- SNMPv3 情報通知のサポート
- RSA-PSS 証明書の署名のサポート
- RSA 暗号の CNSA モードでのサポート
- 「デバイスインベントリ」ページのデバイス検出を無効にする機能
- サポート対象アプリケーションのサービスアカウントとして使用されるユーザーアカウントをサポートする、[サービスアカウント] オプション

問題の修正

このバージョンでは、次の問題が解決されました。

- NVMe ドライブの詳細が、HPE ProLiant XL190r Gen10 サーバー プラットフォーム用の iLO Web インターフェイスに表示されない。
- システムの BIOS バージョンが、アラートメールのメッセージにない。
- IPMI の Get Chassis Capabilities コマンドと Get Chassis Status コマンドに、シャーシ侵入状態が反映されない。
- 2 つの仮想デバイスが同時にマウントされていると、仮想メディアデバイスがアクセスできない。
- ウォッチドッグのアクションが選択されていないと、IPMI プレウォッチドッグのタイムアウト割り込みが発生しない。
- HPE ProLiant BL460c サーバーのシステムブート時、BIOS によるネットワークインターフェイスカードとドライブの検知 (P408e-m コントローラー) を原因とする断続的な切断。
- 構成ファイルシステムにパッチを適用。

既知の問題

- iLO が高度なセキュリティのセキュリティ状態を使用するように構成されている場合、認証をサポートする Smart コンポーネントが使用できるようになるまで、ファームウェアの更新は iLO の Web インターフェイスから実行するか、iLO RESTful API を介して実行する必要があります。
- USB Ethernet アダプターで iLO サービスポートに接続するには、ASIX Electronics Corporation の AX88772 シリーズチップセットに基づいた USB 2.0 デバイスを使用する必要があります。
Ethernet アダプター (部品番号 Q7Y55A) に HPE USB の使用をおすすめします。
- サーバープラットフォームサービス (SPS) ファームウェアまたはイノベーションエンジン (IE) ファームウェアを更新する際は、サーバーの電源を切る必要があります。サーバーの電源を切った後、30 秒待ってから SPS または IE ファームウェアの更新を開始してください。
- iLO 5 のリリースでは、iLO Web インターフェイスで利用可能な機能のいくつかは、RIBCL または CLI でサポートされていません。特に、iLO セキュリティ状態を設定したり、拡張されたユーザー権限を構成したりする場合、代わりに iLO RESTful API の使用をおすすめします。
iLO RESTful API は、Gen10 およびそれ以降のシステム用の、優先プログラムインターフェイスです。優先 CLI およびスクリプティングツールは、RESTful インターフェイスツール (iLOREST) です。
- Java リモートコンソールは、HTTPS ポート番号 443 でのみ動作します。
- iLO 5 1.20 の SNMP 設定は、iLO ファームウェアの旧バージョンとの下位互換性はありません。ファームウェアを旧バージョンにダウングレードすると、SNMP の設定は破棄されます。

前提条件

iLO ユーティリティ

最適なパフォーマンスを実現するために、Hewlett Packard Enterprise では次のバージョンの iLO ユーティリティをおすすめします。

ユーティリティ	バージョン
RESTful インターフェイスツール (iLOREST)	2.2
HPQLOCFG	5.2
Lights-Out XML スクリプティングサンプルバンドル	5.1.0
Windows 用 HPONCFG	5.2.0
Linux 用 HPONCFG	5.2.0
LOCFG.PL ¹	5.1.0
HPLOMIG	5.1.0

¹ Lights-Out XML スクリプティングサンプルバンドルで入手できます。

iLO HighSecurity、FIPS、CNSA セキュリティ状態をサポートするには、アップデートされたユーティリティとシステムライブラリが必要です。現在、HPONCFG Windows ユーティリティでは、CNSA セキュリティ状態がサポートされていません。

ライセンス

一部の機能は、iLO ライセンスパッケージの一部です。iLO ライセンスについて詳しくは、<http://www.hpe.com/support/ilo-docs> にある iLO ライセンスガイドを参照してください。

インストール手順

インストール手順については、次のドキュメントを参照してください。

HPE iLO 5 ユーザーガイド

部品番号: 880740-193

版: 1

ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterprise では、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、何らかの誤り、提案、コメントなどがございましたら、ドキュメントフィードバック担当 (docsfeedback@hpe.com) へお寄せください。この電子メールには、ドキュメントのタイトル、部品番号、版数、およびドキュメントの表紙に記載されている刊行日をご記載ください。オンラインヘルプの内容に関するフィードバックの場合は、製品名、製品のバージョン、ヘルプの版数、およびご利用規約ページに記載されている刊行日もお知らせください。